

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	全科・3年	歴史総合（実教出版）
副教材	なし					
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代史の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テスト</li> <li>授業プリント等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テスト</li> <li>授業プリント、グループワーク発表</li> <li>ノートの見取り、ディスカッション等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、授業中の取組</li> <li>ノートの見取り、まとめ、発表</li> <li>定期考査、テストなどの振り返り</li> </ul>
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表への取組、課題の提出、単元テスト、定期考査等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容（特色を含む）			
月		月	
4	第1編 近現代と私たち 第1章 近現代への胎動	10	第6章 経済危機と第二次世界大戦
5	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	11	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化 <b>第2期考査</b>
6	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 第4章 帝国主義の時代 <b>第1期考査</b>	12	第8章 多極化する世界
7	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	1	第9章 グローバル化と現代世界 <b>第3期考査</b>
9		2	
		3	

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業では 歴史の学習を通して、現代社会の諸課題には、歴史的見方・考え方を働かせる必要であることの理解を深めるような授業を行います。世界と其中的の日本の歴史を広く相互的な視野で捉え、自他の文化を尊重し国際理解を図る学習に取り組みます。</p> <p>2 家庭では 日常生活と学習したことを関連付けて理解できるようにしてください。新聞やニュース、テレビ番組などを通して世界の人々の歴史や生活文化、現代社会の諸問題に関心が持てるよう努力してください。</p> <p>3 その他 地図や年表にまとめる作業を通して理解を深めます。</p>